んにちは、

本共産党井上けんじで

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5(FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3 日本共産党京都市会議員団 5 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '14 年 6 月 8 日号

市会議員団ホームページ http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/ E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

命た市上共会

や、

陽

伏

画 値

軽井

値バ

上イ

動 議 ※

※

消自上

つ税車員

つては一、が増税と、「

税とという税金値

買の校洛軽開

本 5

月

会 党

> が \Box

自か五

動

車

見 税 日

れ月、議

本閉

会

げ 産

工 案

め 館

校伏業

を見高

い稲を

取 荷 統

る 山 合

議のす

案立る

税庶はや」民、軽

と費

民

لح に

市

税

条

例

改

正

敬老乗車証の改悪許すなと、宣伝行動

2日、日本共産党市会議員団と年金者組合の皆さ んなど、合同で「敬老乗車証の改悪を許すな」との 宣伝行動。現在、市長は「乗る度に100円程度の バス代を払う方式」への改悪をめざしています。現 行は、最初に乗車証をもらう時に、所得に応じたお 金を払う方式で、乗るときにはお金は要りません。 高齢者にも多いに外出してもらい、いつまでもお元 気に過ごしていただくのが敬老乗車証の趣旨なの に、乗る度にお金が掛かれば、乗車しにくくなり、 制度の根本の趣旨が損なわれてしまいます。市長が、 最終改悪案を発表できないのは、市民の世論と運動 の反映です。宣伝では、引き続き署名や集会・懇談 会開催など、世論を広げましょうと呼びかけました。



市消防団総合査閲(6/1) 写真は九条分団

は、

ま

面

細

問

合

等問。

遠

 \mathcal{O}

清

掃

な

ぐら

61

屋

外

C

の

仕

事

で

す。

ととも 増にげク 案 会自 で民ま て は た 介公閉 護明会

な 保両本 険 党 会 が 改悪を、 議 \overline{C} は 玉

ま 廃 国 しを て を す案 会 ま求は 介 に C 会 しめ 老 ۲ のた。 る \overline{C} 人 は、 介 意木 \Box 呼 護 見 1 本 書案 び 改 共 要 か 悪 増 産 法 を設 支 け 党 是 提 案 ど 援 て 案 は、 を

護 保 険 か 5 排 除

Ц 申 を 悪 \triangle ф 迎 は営 70人京 こえて 込 歳 情 住 郵 審者 h 便 6 宅 報 で 下 い議 局 て 月の ま中 限 必 す 11申 で、 定、 さ 3 着 い日し て 草 男 60 ま込 ヤ 等 す。12でみ 刈女∫ マのホ用

 \mathcal{O} 人

は 議 30 、 が 日 上何な 党 論 全 以し議 に

とどに し た。 議 外 ま員 は 案の しら賛 反 各たが、し 黙党が、 そ そ っは ま $\overline{}$ 討日れ し \mathcal{O} た。 論 本ぞ 他 賛 成も 共れ \mathcal{O} せ産討井議

な都

井い市国

入 針 を と

減は

え、

も 含

含まれ

市て

長おか

員

まず

क क

他

党

£

財

变

危

核緩

を言

いながら

猹

成

達成

員

反

対



由な最傾と 活 い す 切 。 る 統と合工反 よう る 適 切 つ 地地立自業対捨財よ にて 挙 げ同 で、 命体館に ۲ 高 討 て政う市い は 討 僚 校 論の 危 な る 通 論議 根に 言 高 し口機提財の 学 ま実論案政に し員が えな つ 校 拠 も \mathcal{O} がいし なはは 防 土なてた。 し反 の市お危 災 対

危 いこと 今 機 地がは、 か民かう回じ 上、はご

安部暴走ストップ円山集会 5/30



TOP STATES AND SHARE STATES AND S



料所 2 得 案入割中が所へ堅 倍 以 を加上 老は 人 利